

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	007 市民目線の広報推進事業						
予算科目	01-020104-11 広報デザイン事業に要する経費				担当部課	市長公室広報戦略課	
市長公約	11-1	11-2			係名	広報デザイン係、魅力発信係	
戦略プラン	I-4	1	1	市民目線の効果的な広報の推進		新規・継続	新規
	I-1	3	1	市政情報等の発信		事業分類	自治事務（任意）
個別計画						事業体制	一部委託
						事業期間	毎年度
根拠法令等						SDGs	16平和と公正をすべての人に

事業の概要

対象	市民、来訪者、市に縁のある方、つくば市記者会
目的	市が伝えたい情報をはじめ、市民が求めている「知りたい」情報が確実に届くようにする。
概要 (取組内容)	広報紙（かわら版含む）、市勢ガイド等の編集・発行、市公式HPや市公式SNS等の運用、ケーブルTV等の活用、定例記者会見やプレスリリース等の実施など

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	66,947	79,889	90,441	97,299	97,229	
	決算額	(千円)	78,329	71,868	72,378	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	78,205	71,735	72,245	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	124	133	133	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	51,771	43,042	55,834	49,949	49,949	
	内訳	正職員従事割合	(人)	7.00	6.00	7.50	7.00	7.00
		正職員時間外勤務	(時間)	1,677.00	661.00	661.00	661.00	661.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	広報紙の満足度 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	61.3	62.4	63.6	64.9
	実績	58.9	0.0	59.0	58.7	58.8	61.1
	指標の概要	市民意識調査「広報紙による情報発信」の「満足」、「どちらかといえば満足」と回答する人の割合を増やす。					

2	指標名	ホームページ・SNS等による情報発信の満足度 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	41.0	41.8	42.6	43.3
	実績	40.0	0.0	44.4	43.7	41.6	45.2
	指標の概要	市民意識調査「ホームページ・SNS等による情報発信」の「満足」、「どちらかといえば満足」と回答する人の割合を増やす。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市広報紙は、子育て世帯向けの情報を掲載したほか、表紙に目を引く写真を活用するなどデザイン面を工夫した。ホームページについては、クラフトライフ等の特設ページの内容の充実を図るとともに、庁内掲示板で作成方法等について周知を行った。	
成果	市広報紙は、文字を通常より大きく表示するなど読みやすくした高齢者向けサービスガイドブックを中面に折込み、手元に置いて活用しやすくする等、制作面で工夫をした。かわら版は、子育て環境や校内フリースクール等の旬なテーマを取り上げ、見やすい動画と連動させて市政情報を発信した。その結果、市広報紙の満足度はR6の目標値に達しなかったが前年度実績を上回り、HP・SNS等はR6の目標値を達成した。	
課題	業務	市広報紙は読みやすいという評価が多くある一方、読みづらいとの声もある。市ホームページは庁内からCMSへの問合せが多く寄せられているほか、合理的配慮の対応が必要である。
	組織、予算等	材料費の原価高騰及び市報印刷費の頁数増加により、需用費が増加している。
改善目標	各記事において可能な限り長文を避けつつ、写真を活用するなど文章面やデザイン面を工夫し、より読みやすい市広報紙を制作する。また、合理的配慮に対応した市広報紙やホームページを目指すとともに、職員がホームページをスムーズに作成できるよう引き続きCMSの操作方法を分かりやすく周知する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	005 職員向けの広報力スキルアップ等事業						
予算科目	01-020104-11 広報デザイン事業に要する経費			担当部課	市長公室広報戦略課		
市長公約	11-2			係名	広報デザイン係		
戦略プラン	I-4	1	2	職員の広報力の向上	新規・継続	新規	
	I-4	1	3	市のブランドイメージの統一	事業分類	自治事務（任意）	
個別計画						事業体制	職員のみ
						事業期間	毎年度
根拠法令等						SDGs	16平和と公正をすべての人に

事業の概要

対象	職員
目的	職員一人ひとりが市民の求めている「知りたい」情報の把握や対象に合わせた広報媒体の選択を行い、「伝わる」広報内容の作成等の広報力を向上させるとともに、市のブランドイメージの向上を図る。
概要 (取組内容)	職員向け広報力向上セミナー等の実施、チラシデザイン等のチェック作業の実施など

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	12	12	12	33	33	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,479	3,515	3,676	3,515	3,515	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	25.00	25.00	25.00	25.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	職員向け広報力向上セミナーの受講者数（延べ人数）					（人）	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	0.0	150.0	300.0	450.0	600.0	750.0	
	実績	133.0	118.0	284.0	543.0	704.0	863.0	
指標の概要	受講者数 年間150人(2020年度～2024年度 合計750人)（個別施策 I-4-①市民目線の効果的な広報の推進 指標 3）							

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	職員の誰もがすぐに実践可能な「スマホによる動画制作講座」や「チラシ作成実践講座」など、より効果が出やすい講座を実施することで、職員の広報力向上に取り組んだ。また、デザインチェックは、昨年チェックした資料を有効活用することで、再利用等を行い作業効率化を行った。	
成果	職員向けの広報力向上セミナーを3回実施した。第1回は「スマホによる動画制作講座」、第2回は「チラシ作成実践講座」、第3回は「つくば市公式SNSの活用講座」を実施した結果、計159名が参加しR6目標値を達成することができた。そのほか、年間400件以上のチラシデザインチェックを実施するとともに、誰でも効率よくチラシを作成できるようにデザインチェック事例集 (before・after) を全庁的に共有した。	
課題	業務	市が行う各事業に関する情報が市民にしっかりと伝わるよう、職員一人一人の更なる広報力向上を目指す必要がある。
	組織、予算等	チラシデザインチェックの依頼件数が年々増加しており、職員一人当たりの作業時間が増加している。
改善目標	引き続き、すぐに実践可能でより効果が出やすい広報実践講座を実施するとともに、チラシ等の好事例について随時全庁的に共有を行うことで、職員の広報力の向上を図る。また、昨年度に準備したデザインテンプレートが庁内でより活用されるよう更なる周知を行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	004 シティプロモーション・関係人口創出拡大事業					
予算科目	01-020104-12 魅力発信事業に要する経費			担当部課	市長公室広報戦略課	
市長公約	11-2	84		係名	魅力発信係	
戦略プラン	I-4	2	1	つくばの魅力発信	新規・継続	新規
	I-4	2	2	関係人口の創出	事業分類	自治事務（任意）
	I-4	2	3	ふるさと納税のPR強化	事業体制	一部委託
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	16平和と公正をすべての人に
						17パートナーシップで目標を達成しよ

事業の概要

対象	市民、来訪者、市に縁のある方
目的	市内外に対してつくばの魅力を発信し、つくばに愛着を持つ人を増やす。
概要 (取組内容)	市の魅力的な取組や、地域で行っているイベント等を、市公式SNSを用いてPRする。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	2,812	4,596	6,632	4,393	4,393	
	決算額	(千円)	2,303	3,751	5,000	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,634	3,086	4,340	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	669	665	660	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,319	11,313	11,815	14,766	14,766	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.50	1.50	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	208.00	393.00	393.00	393.00	393.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	市公式SNSへの「市の先駆的な取組や地域のイベント等」の投稿数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	60.0	62.0	64.0	66.0	68.0
	実績	58.0	121.0	94.0	116.0	115.0	138.0
	指標の概要	当該年度における市公式SNSへの投稿数。H30年度からR1年度における市公式SNSへの投稿数の増加率1%を踏まえ、毎年約3%増を目標とする。(R1年度591件÷H30年度587件=1.0068≒1%)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	広報企画員（任期付専門職）による職員への動画撮影や編集作業に係るOJTに取り組みながら、作業分担を行うことでスケジュールが過密にならないようにした。また、撮影に必要な機材を購入して対応した。
成果	つくばに愛着を持つ人を増やすため、庁内各課と連携し先進的な取組や地域イベントなどの情報を収集・発信したことでR6の目標値を達成した。また、市民に市政情報を分かりやすく伝えるためYouTubeかわら版チャンネルで動画配信を行った結果、チャンネル登録者数が2,740人（昨年比484人増）となった。なお、動画はイラストや写真を多用するなど、視聴者が親しみを持てるような工夫を凝らして制作している。
課題	業務 各課からの動画の撮影依頼は引き続き増加傾向にあり、日によって職員のスケジュールが過密になっている。 組織、予算等 引き続き、動画撮影等に関するスキルを備えた職員の育成が必要である。また、計画的に必要な機材を購入しているが、充分とは言えない。
改善目標	内容に応じて撮影業務の外部委託や他課職員への撮影スキルの共有化を図っていく。また、動画撮影に必要な機材が不足及び老朽化しているため、計画的に予算化することで機材を刷新していく。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	013 移住・定住促進事業					
予算科目	01-020104-12 魅力発信事業に要する経費			担当部課	市長公室広報戦略課	
市長公約	84			係名	魅力発信係	
戦略プラン	I-4	2	1	つくばの魅力発信	新規・継続	継続
	I-4	2	4	つくば市への移住促進	事業分類	自治事務（任意）
個別計画				事業体制	一部委託	
				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	16平和と公正をすべての人に	

事業の概要

対象	来訪者、市に縁のある方
目的	周辺地域へ目を向けてもらうための取組みを行い、人口が減少傾向にある周辺地域へ人の流れを作り出し、移住定住の促進を図る。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係各課等と連携し、地域活性化協議会の取組等、地域に密着した活動を市公式HPや公式SNSを用いて発信。 ・周辺地域で移住希望者向けイベントを実施し、その様子をSNS等を用いて発信。 ・地域に密着し、新たな仕事や生活を自らの手でつくるライフスタイル「クラフトライフ」を推進するため、クラフトライファーへのインタビューを実施し、市HPの特設ページ「つくばクラフトライフ」やSNSで紹介する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	6,555	6,589	6,558	6,559	6,559	
	決算額	(千円)	5,900	3,696	495	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,514	1,276	495	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	4,386	2,420	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,968	7,184	7,510	7,184	7,184	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	230.00	114.00	114.00	114.00	114.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	SNSへの「地域活性化協議会等が行うイベントや取組等」の投稿数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	56.0	58.0	60.0	62.0	64.0
	実績	54.0	72.0	56.0	55.0	65.0	77.0
指標の概要	当該年度における市公式SNSへの投稿数。H30年度からR1年度における市公式SNSへの投稿数の増加率1%を踏まえ、毎年約3%増を目標とする。(R1年度591件÷H30年度587件=1.0068≒1%)						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	地域活性化協議会のキーパーソンと定期的に情報を共有し、SNSで継続的にイベント等の情報発信を行った。また、地域に密着し新たな仕事や生活を自らの手でつくるクラフトライフを推進するため、市ホームページ上の特設ページにおいて、クラフトライフへのインタビュー記事やイベント記事を掲載した。	
成果	周辺市街地のイベント告知や当日の様様についてSNS等で発信することで、地域の魅力を伝えるとともにイベントの機運醸成の一翼を担った。また、クラフトライフを推進するため「つくばのおさけ」に関し、市内の酒生産事業者やお酒のPRイベントを計9件取材し、市ホームページ等で発信した。その結果、R6の目標値を達成した。さらに対面・リモート・電話などによる移住相談を計196件実施し、移住促進を図った。	
課題	業務	今後も周辺市街地への人の流れをつくるため、地域で行われるイベント等の継続的な情報発信を行うほか、周辺市街地の取材・魅力発信等を通じ、クラフトライフ推進に向けた取組を継続して行う必要がある。
	組織、予算等	国の移住支援金制度の要件が頻繁に変更されるため、国や県の動向を注視する必要がある。
改善目標	特設ページ「つくばクラフトライフ」のさらなる充実を図る。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	
理由	